

銀賞

疑問は保全の第一歩

トヨタ自動車 株式会社 田原工場

今泉 治久

「作業着がすごく汚れているけど大丈夫？」上司が若手社員に言っている声が聞こえました。若手社員は「すみません。作業していて気付いたら汚れていました。」

私はその会話を、あまり気に留める事ありませんでしたが、それから数週間後の事でした。

「新品の作業着がもう汚れているけど、なんの作業をやったらこうなる？」と同じ若手社員に上司が言っている声が聞こえました。

何故こんなにも作業着が汚れてしまうのか？若手社員の作業のやり方が悪いのか？どんなところで作業しているのか？いろいろなことを私は考えましたが、考えるだけで、その時は特に行動に移すこともなくその日が終わりました。

それから、また数週間後の事です。ふと見ると、若手社員の作業着が少し汚れていることに気付きました。汚れ方も前と似ていると感じ、今日の若手社員の作業内容を振り返ってみると、真空ポンプのオイル更油作業をしていることがわかりました。

もしかしたら、前回の汚れもこの作業が原因なのかもしれないと思い若手社員に聞いてみました。すると、「言われてみると上司に注意された日は、どちらとも真空ポンプのオイル更油作業をやりました。」

私はすぐ、若手社員と一緒に現地に行き設備を観察することにしました。どうして作業着が汚れてしまうんだろう？いつもと違う所はどこだろう？すると、真空ポンプ下のオイルパンが汚れている事に気付きました。なぜ汚れているのだろう？真空ポンプのオイルが漏れているのだろうか？

若手社員に聞きました。「いつからオイルパンは汚れているの？」すると、若手社員は「前から汚れていました。作業の後はずっと清掃はしていたんですけど・・・」

周囲の設備を点検すると、隣にある油水分離機のポンプの不良で油が滲み出ているのを発見しました。

すぐに、若手社員と二人でポンプ交換作業に取り掛かりました。交換作業を

終わると、若手社員が「すみません。僕がポンプの不良に早く気付ければよかったですね・・・」と言いました。

私は「ポンプの不良に気付けなくてもオイルパンの汚れには疑問をもってほしかったな、オイルパンが汚れているのは正常ではないからね。」

設備をキレイに保つだけで、正常と異常が見え、原因追及や処置もスムーズに完了できることを伝えました。

今回の出来事で作業着の汚れや、オイルパンの汚れといった些細な変化でも疑問に思うことで、設備不具合の早期発見をする事が出来ました。今後は保全メンバー全員で些細な変化など、いつもと違うことに疑問を持ち作業に取り組んで行きたいと思います。また、設備の正常、異常をわかりやすくするためにも、5Sを推進し故障のない設備をみんなで創っていきたいと思います。